

教保体第1675号  
平成31年2月21日

各市町村教育委員会教育長 }  
各 県 立 学 校 長 } 様  
各 教 育 事 務 所 長 }

埼玉県教育委員会教育長

### 持久走、強歩大会等の事故防止について（通知）

体育的活動時における事故防止については、日頃、特段の御配意をいただき感謝申し上げます。

さて、平成27年度に発生した県立高等学校における強歩大会の事故については、過日結審し、その中で「予め適切な救護体制を構築する注意義務があったのにこれを怠った過失を認めることができる」との指摘がありました。

つきましては、各学校における持久走、強歩大会等の開催に当たっては、平成30年4月2日付け教保体第21号「体育的活動時における事故防止について（通知）」及び「平成30年度学校体育必携第59号」（体育関係主要通知・通達）等を確認するとともに、下記の内容を十分検討の上、事故防止及び緊急時の対応について万全の救護体制を構築するようお願いいたします。

また、参考資料として、事故発生時を想定した研修会の実践例を添付しております。各学校におけるAED研修会や心肺蘇生法研修会等が、連絡体制の確認や実際の場面を想定した実践的な取組となるよう参考としてください。

なお、市町村教育委員会におかれましては、貴管下各学校に周知くださるようお願いいたします。

#### 記

#### 1 開催内容や運営方法について

##### (1) 走行距離や制限時間等の検討

持久走、強歩大会等を開催するねらいや目的を明確にし、参加する児童生徒の能力や身体的負担等を考慮し、毎年度、走行距離や制限時間等について見直しを検討する。

##### (2) コースの検討

学校の周回路や校外における活動を実施する際には、あらかじめ活動場所の下見を行い、コース上の危険箇所や救護活動の妨げになるような障害の有無について確認し、必要に応じた対策を講じる。

その際、コース上に児童生徒の集団や一般の自転車、歩行者等が走行しているこ

となどを踏まえた上で、A E D等の設置場所や搬送ルート、搬送手段や方法などを具体的に検討する。

### (3) 活動時期の検討

近年の急激な気象条件（落雷・強風・大雨・高温等）の変化に鑑み、ねらいや目的、活動内容等に適した活動時期について検討する。

## 2 生徒の体調等に応じた適切な指導について

### (1) 児童生徒の健康状態等の把握

授業における長距離走や持久走、強歩大会等を実施するに当たっては、日常の健康観察とともに、活動前・活動中、活動後の児童生徒の健康観察を徹底し、健康状態や配慮すべき事項等を把握する。

### (2) 健康相談や健康診断結果等の活用と情報共有

持久走、強歩大会等を実施するに当たっては、健康診断の結果の確認や必要に応じて学校医の健康相談を実施するなど、きめ細やかな健康管理に努め、健康状態や配慮すべき事項等については、教職員間で情報を共有する。

### (3) 参加する児童生徒への配慮

参加する児童生徒の体力や能力、健康状態等によっては、個別に走行距離や制限時間等の設定を軽減したり、参加を見合わせたりするなどを慎重に判断し、安全に活動が行われるよう配慮する。

## 3 事故発生に備えた具体的な対応策等について

### (1) A E Dの設置について

持久走、強歩大会等を実施するに当たっては、活動の広さや範囲に応じて、A E Dを複数台携行し、コース上の適切な場所に配置する。

### (2) 救護体制の構築について

#### ア 「緊急時対応マニュアル」の作成及び検証について

事故発生時の適切な初期対応及び役割分担や手順等の共通理解を図るために、「緊急時対応マニュアル」を作成する。

また、開催内容や運営方法等の見直しを図る際には、同時に「緊急時対応マニュアル」の検証も行い、常に迅速かつ適切な対応がとれるようにする。

#### イ 指揮監督者及びその代理者の決定について

救護体制を構築するに当たり、A E Dの手配等を指揮する指揮監督者及び代理順位を含めて決めた上で、その連絡先については周知徹底を図る。

#### ウ 通報や指揮連絡体制の徹底について

事故発生を覚知した教職員が必要に応じて速やかに119番通報や指揮監督者に連絡したり、指揮監督者が事故現場に近いA E D設置場所に常駐している教職員に連絡したりできるよう、全教職員に携帯電話の携行を義務付けるなど、連絡手段を整備する。

また、事故を覚知した教職員が報告する内容や指揮監督者が聞き取りをすべき情報（学年、クラス、氏名、事故の状況、傷病者の様子など）を迅速かつ円滑に

伝達しやすい記録用紙などを作成し、「緊急時対応マニュアル」に差し込んでおく。

エ 搬送ルートや搬送手段、方法の検討と周知について

コース上の障害等を踏まえ、一般道も含めたAED等の搬送ルートや搬送手段、方法を決めた上で、コース図などに明示するなどして教職員への周知徹底を図る。

オ 救急法講習会等の実施について

教職員・児童生徒を対象に、定期的な救急法講習会等を開催し、緊急時にAEDの使用を含めた迅速かつ適切な対応が図れるよう努める。

その際、緊急連絡体制に沿った情報伝達、組織的な指揮系統、AEDの搬送ルートや搬送手段、方法などについて、活動現場を想定した実践・確認を行うようにする。

平成30年度 体力向上に向けた目標  
一人一人が「目標を持って」取り組み、  
「自己の体力の伸びを実感」できるようにする。  
県の体力向上に向けた合い言葉  
「コツコツときたえた体は たからもの」

担 当 教育局県立学校部保健体育課  
学校体育担当 鈴木 紀幸  
T E L 048-830-6947  
F A X 048-830-4971  
Email 6960-04@pref.saitama.lg.jp

## 心肺蘇生法・AEDの使用に関する研修会の実践例

- 1 日時 適切な時期に実施（長距離走授業、学校行事の前など）
- 2 目的 授業中、部活動中、学校行事等の体育的活動時における緊急時の救護活動を、事故発生現場に近い状況を想定して行うことで、より実践的な研修とする。  
これにより、教職員が応急手当（初動対応）の重要性を認識し、自主救護能力や救命率の向上を図る。
- 3 会場 教室、体育館、武道場、グラウンドなど
- 4 対象 全教職員、生徒代表など
- 5 主な内容
  - (1) DVD視聴  
参考DVD「その時あなたは（独立行政法人日本スポーツ振興センター）」
  - (2) 心肺蘇生法（AEDの使用含む）、応急手当の実技演習
- 6 活動内容
  - (1) 準備
    - ①心肺蘇生法練習用ダミー（複数台）
    - ②AED練習用キット（複数台）
    - ③役割分担カード、AEDカード
    - ④ストップウォッチ
    - ⑤メトロノーム
    - ⑥DVD
    - ⑦研修班：1班5人程度で編成
  - (2) 活動
    - ①教職員をいくつかの班に編成し、班の中では5つ（A：第一発見者、B：応援者、C：119番通報者、D：AED搬送者、E：救急隊）の役割を順番に行う。
    - ②役割分担カードを配布し、首から下げる。
    - ③流れに従って活動を行う。
    - ④1ターンが終了したら、役割分担をローテーションする。

本参考資料の内容については、事故発生時を想定した実践的な研修会の参考例である。  
場面設定は、校内で想定されているが、学校行事等で校外における活動場面を想定する際には、通知の内容等も踏まえ、必要に応じて場面や役割分担、活動内容を検討することが望ましい。

【研修会の進め方】

A：第一発見者、B：応援者、C：119番通報者、D：AED搬送者、E：救急隊

《場面その1》



(役割分担カードは左が表、右が裏)

倒れた生徒発見！ 誰か来て！  
 肩を叩きながら「大丈夫か！？」  
 (意識の確認)  
 〈B先生、D先生、E先生は駆け寄る〉  
**B先生、119番通報を！**  
 →《場面その2へ》  
**D先生、AEDを持ってきて！**  
 →《場面その3へ》  
**E先生、応援要請と管理職へ報告を！**  
 →《場面その4へ》

《場面その2》

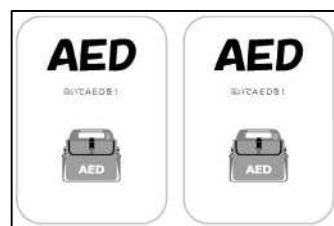


119番通報〔電話をかける芝居〕  
 こちら消防です。火事ですか？救急ですか？  
 救急です。  
**住所はどこですか？**  
 ○○○高校です。  
 ○○市△△△丁目◇番地です。  
 (校外行事等の場合は住所や目印の建物等)  
**誰がどうしましたか？**  
 生徒が倒れました。



**年齢と性別を教えてください。**  
 年齢は分かりません。高校3年男子です。  
**意識と呼吸はありますか？**  
 意識がありません。呼吸は、分かりません。  
 (年齢や呼吸の有無等、分からないことは曖昧に返答しない)  
 [救急隊役 ストップウォッチスタート]  
**あなたの名前と連絡先を教えてください。**  
 ○○ ○○です。  
 048-△△△-○○○○です。  
**救急車到着したら誘導してください。**  
 分かりました。  
 [第一発見者のところに戻る。]  
 A先生、救急車要請しました。  
 これから誘導します。  
 (第一発見者に見通しを伝える)

《場面その3》 119番通報と同時並行で動く



D先生、AED持ってきてください！  
はい、分かりました。

〔あらかじめ事務室前に用意された  
AEDカードを取りに行く。〕  
〔戻ったら、AEDの装着を始める。〕

AED持ってきました。

- ① AEDの電源を入れる。
- ② 台紙からパッドを剥がし、心臓を挟むように右鎖骨下と左脇の下に貼る。

体に触れないでください！

電気ショックのボタンを押します！

- ③ 電気ショックのボタンを押す。

心肺蘇生の指示です。

A先生、胸骨圧迫、E先生、人工呼吸を！

〔救急隊到着までの7分間続ける〕

《場面その4》 119番通報と同時並行で動く



〔生徒に指示〕

生徒は静かに廊下に出るように！

職員室の先生を呼んできてくれ！

〔応援の先生到着、管理職への報告〕

〔管理職は、AEDの搬送、救急隊への連絡  
状況を確認、把握し、その後の指示をする〕

生徒を移動させ、管理職に報告したので、心肺蘇生を手伝います。

《場面その5》 救急隊到着



救急隊です。第一発見者は誰ですか？

状況を教えてください。

私が教室に来た時には、胸を押さえて倒れていました。

呼びかけにも反応がありません。

ストレッチャーに移動します。

手伝ってください。

「AEDのパッドは、絶対にはがさない！」